

【修正点】

1) EpisysA&B201 の「集計」の集計方法の変更

「単純集計」と「感染症別集計」ではこれまでは、予め集計項目の何れかに欠損値（Null 値、空白値）がある報告データを除外したデータセットを作成し、これを対象として集計していましたが、この方法を改め、集計項目毎に欠損値を除いたデータセットを作成し集計する方法に変えました。この結果、集計の母数が旧方法に比べ若干増えることがあります。

なお、欠損値は正常には存在しないはずのものですが、パソコンの不調、過去のシステムバグなどの原因で出来てしまったものと考えられます。このような欠損値を含む報告データの割合は、JES2011 の集計で、エピネット A データでは全体の 0.3%、エピネット B データで 0.1% でした。

2) EpisysA&B201 の単純集計で、一部の集計結果が表示されないバグ修正

EpisysA201 の単純集計で「記載なしを除外」の条件を選択すると、「1 2. 受傷部位」の結果が表示されない、あるいは、EpisysB201 の単純集計で「記載なしを除外」の条件を選択すると、「1 5. 緊急処置時汚染」の結果が表示されない、等のバグを修正しました。

【修正該当バージョン】

2012年2月29日迄にダウンロードされた EpisysA&B201 で、メニュー画面の右上のバージョン記号が「Ver.2011-3」以前のもの。

【修正版】

現在、この修正版ができています。修正版のバージョン記号は「Ver.2012-1」となっています。

【修正版のダウンロード】

EpisysA&B201 の利用登録がお済みの場合の再ダウンロード先

→ http://www.episys.jrigoicp.org/v201/episys201_dl_retry.asp

から修正版を取得してください。